

今月の題字



くまの

熊野第二小学校5年 田口 夏帆 さん

熊野第二小学校1年 山尾 瑠美 さん



【評】お話から想像を膨らませ、かわいいですてきなお花の帽子を描きました。帽子に咲いた花のみつを吸いに虫たちも集まっています、とても楽しい作品になりました。

熊野第二小学校4年 奥 結菜 さん



【評】上下の部分の高さを低くして、形を平たく安定した筆圧で書くことができています。点画の大きさや方向をそろえて、字形を整えて書くことができました。

熊野の自然 (387) 最終回
ハリギリ (ウコギ科)



晩秋から初冬、山歩きの楽しみの一つが落ち葉です。落ち葉そのものの魅力もあり、落ち葉で気が付いて、木を探すこともあります。ところで、落葉樹はなぜ葉を落とすのでしょうか。冬は日照時間が短く日差しも弱く、葉で光合成をして養分をつくるには効率が悪いのです。葉に水分などを送る必要もあります。冬の寒さや乾燥も大敵です。葉を落とすのは、落葉樹が選んだ冬越しの方法なのです。針桐の名は枝に鋭い刺があり葉がキリに似るとして付きました。別名センノキ。葉は厚く、5〜9の奇数

に裂け縁は鋭い細鋸歯。幹は直立し枝は太く、葉は枝先に集まって互生します。どの葉にも日光が当たるように、下の葉ほど葉身が大きく柄も長くなっています。大きな葉では葉身

も柄も30cmほどあります。花期は7〜8月。枝先に多くの花軸を出し、黄緑色の小さな花が多数集まった球形の花序を、総状に付けます。直径4〜5mmの球形の液果は、黒く熟します。最大で高さ25m直径1m。樹皮は暗褐色で縦に深く裂けます。材は白く、家具や器具、楽器などに使います。北海道〜九州に分布。熊野では10カ所ほど見られますが、数が少なく稀です。誠和園からゆるぎ観音への林道へ入り、右へ大きくカーブした所に大木があります。

【写真・文】
緑花文化士 富沢由美子

熊野の自然は今月号で最終回となります。永年のご愛読ありがとうございました。1月号〜3月号は富沢先生のインタビューを交えつつ特別編を掲載します。

筆の駅ミニギャラリー

●筆の里ありがとうの
絵りがみ巡回展

時12月2日(木)〜18日(土)

筆の里工房で開催中の「第23回筆の里ありがとうのちよっと大きな絵りがみ大賞優秀作品展【一般の部】」に伴い、熊野町や近隣市町から出品された優秀作品を展示します。



第22回 優秀賞
西小原 雅 (熊野町 高3)

熊野町観光案内所「筆の駅」
熊野町出来庭10・6・24
☎85・1123 (いいふみ)
開10時〜16時
(各展示の最終日は15時閉場)
休水曜日・第3日曜日
年始年末12月27日(日)〜1月6日(水)
※無料
※ギャラリーのご利用については、お問い合わせください。



Instagram



LINE

熊野町公式アカウント



LINE

子育て支援情報アカウントここふでりん



LINE

防災無線放送再生ダイヤル

082-820-5640 (放送終了後24時間自動消法)